

様式第2号 (第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		第7回川島町地域活動センター（仮称）検討委員会会議
開 催 日 時		令和6年8月28日(水)午後7時00分～午後8時30分
開 催 場 所		川島町役場 大会議室
議 題		(1) 町民コメント制度に寄せられた意見及び回答について (2) 検討委員会における検討結果報告書（案）について (3) 川島町地域活動センター（仮称）準備会について (4) その他
公開・非公開の別		公開（傍聴者3名）・非公開・一部非公開
非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	矢部委員、安田委員、木村委員、山田委員、稲村委員 柳澤委員、福寫委員、三坂委員、竹谷委員、阿部委員
	事務局	関口教育長 生涯学習課 神田課長、鈴木主幹、加藤主査、藤井主査 政策推進課 松本主幹、牛村主幹 総務課 伊藤主幹
配 布 資 料		・ 会議次第 ・ 「地区公民館」から「地域活動センター（仮称）」への移行について（案）に関する意見等の募集結果 ・ 川島町地域活動センター(仮称)検討委員会における検討結果について（報告） ・ 川島町地域活動センター（仮称）準備会設置要綱
審議会等の内容・概要		
1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 議 題 （事務局より議題に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議題より行い、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。） 委員長：議題に入る前に議事録署名委員を指名します。 稲村委員、柳澤委員を指名します。 （1）町民コメント制度に寄せられた意見及び回答について （事務局にて資料を用いて説明） 委員長：町民コメント制度に寄せられた意見及び回答に関して事務局から説明がありま		

した。これに関して何か意見などがありますか。

委員：地域活動センターの目的は「地域の活性化」にあるかと思う。資料の町民コメントの2番目「なぜ活動センターを町内2か所としたのか」に対しての町の回答があるが、中山では安全安心のため、地域レポートを2千数百部配布している状況で、人口を見ると中山地区が約6,000人、伊草地区が約5,600人、世帯では中山地区が約2,700世帯、伊草地区が約2,500世帯。活動センターのイーストではこの数を対応することになる。また、中山地区と伊草地区では風土が違出し、防災や防犯に対する理解度も異なる。イースト内でもある程度分けて啓発物を配布する必要なども出てくるかもしれない。ウエストの4地区は合わせて6,500人、2,700世帯なのでどうにかなるかと思うが、イーストは特にパワーが必要になってくる。

また、資料の町民コメント5番目「なぜ教育部局としたのか」といった意見と回答を見たが、なぜ公民館運営が厳しい事態になってしまったのか検討されていないのではないのか。課題解決には、真の原因を解明し、それに対する対策をしておかないと、また問題は再発してしまう。担当課が掘り下げているのであればいいが、しっかり配慮してもらいたい。あと、将来的には所管課の変更も、と書いてあるが、至急の改善が必要なため地域活動センターに移行すると考えるが、とりあえず教育部局というのはいかがなものか。

あと、資料の町民コメント13番目の助成金についての内容がわかりにくかった。

事務局：活動センター設置を2か所としても、その中にそれぞれの地域差、特徴があることも踏まえて、準備会等で検討を進めていき、各エリアのバランスを見ながら対応できるようにしていきたい。

委員：公民館長の負担を減らそうとしても、職員が支えないと、人が多い地区では例えば盆踊りの規模は大きく、館長達への負担は変わらない。地域活動センター化する意味を失ってしまう。

事務局：公民館運営が難しくなってきた原因、分析は担当課として考えてきた。地域課題は防災や福祉など多岐にわたり、将来的には所管課をどうすべきか、といった議論もあるが、地域コミュニティの復活に向けて少しでも早く取り組んだ方がよいと思っている。

委員：そろそろ予算の立案時期となっている。運営交付金はどうなるのか。

事務局：体制が変わるので算定が難しい部分もあるが、今の公民館への助成金額を参考にしている。

委員：準備会で決めていくことがとても多くなる。

事務局：予算については精査まではいかなくともまずは枠を作って進めていき、次年度に予算がなくて事業ができないという状況にならないように配慮したい。

委員長：他に意見もないようなので、最初の質疑に戻ります。

委員：今までの説明会や会議等を通じて町はどのように総括しているのか。また、「検討していきます」との回答が多かった。小学校の空き教室の活用やフラットピアの増設については、どうしようもなくなったら検討しますといった回答で、集会所の活用についてもどのようにするかははっきりしていない。

事務局：フラットピアや伊草公民館で実施した説明会での意見については、他の地区での説明会も含め、町ホームページに公開している。また、多くの声としては、他の地区と同じく、今までどおり団体活動が新たな体制で実施できるのか、使用料はどうかといったものであった。あと、伊草公民館では旧館を廃止した場合、新館だけで従来の活動が間に合うのかと心配の声もあった。これらの意見や町民コメントの意見なども踏まえた上で、報告書としてまとめている。

また、小学校の空き教室の利活用については、実際に活用している自治体を視察し、調査をしているので、事例を参考に研究をしていきたい。フラットピアの増設については、まずは既存の施設を有効活用してもらい稼働状況を見極めていきたい。また、地区集会所の利活用の可能性については、施設の老朽化や耐震基準不足などの課題もあるので検討を続けていきたい。

委員：集会所は、いきいき体操で利用されている。また、フラットピアの増設についても今ある施設の有効活用という考え方はわかるが、こちらも前向きに考えてもらいたい。

（２）検討委員会における検討結果報告書（案）について

委員長：報告書（案）の構成や内容についてご意見をいただきたい。

委員：「（イ）組織体制について」の中で、「職員は施設管理や施設利用団体の予約受付などの業務のほか、地域の総合調整役として、地域の課題を把握し…」とあるが、各調整がメインであって予約受付がメインでは困る。あと、今年も雨が多く心配しているが、防災に関する意識が向上していないことも大きな課題。

また、各専門部会案が提示されているが、地域の活性化はどの部会が担うのか。

事務局：事務局もご指摘されたことと同じ方向性で考えており、職員の役割については誤解のないように表現方法を改め修正する。

また、「どの部会が地域活性化を担うのか」については、全ての部会が地域の中で活動が続けることが地域の活性化につながるので、全ての部会が地域の活性化を担っていると考えている。

委員長：町民コメントの募集では「地域活動センター（仮称）への移行（案）」という資料があり、データなどもあってよくまとまって分析されていた。今回の検討結果報告書（案）はやや物足りない。この報告書は、今後の議論のベースともなるものなので、より見やすくわかりやすくなるよう改善を図ってもらいたい。

事務局：わかりました。

委員：フラットピアは移行後の利用状況を確認して増設を検討するといった点や地域コミュニティの場として集会所の利活用を検討するといった点も加えてほしい。

委員：エアコンがなかったり耐震性がなかったりと集会所も様々である。耐震化の問題もあって公民館を廃止するのに、公民館以上に耐震性がない集会所を使うのはいかがなものかと思う。

事務局：集会所を活用している自治体の視察をしたときは良い取り組みだと思ったが、集会所は耐震基準前の建物があり、耐震性の面からも課題があると捉えている。また、旧館を廃止する伊草公民館をはじめ、利用団体の方々には活動場所や時間帯を変更いただくこともあると思うが、協力をお願いしていきたい。

委員：大字ごとにあるような集会所は、建てた経緯もそれぞれであって、共同利用する集会所もあれば、他の地区の人が使うことに嫌悪感を抱く人もいる。

また、社会福祉協議会で実施している福祉まるごと相談事業では、実に様々な事案があり、各専門職の職員が日々話し合っているような状況である。地域活動センターに配属される職員も幅広い分野を所管することになると思うが、重要なポジションになる方なので、人選を含め、その方に過度な負担がいかないよう配慮してもらえたらと思う。

委員長：集会所については課題も多いため表現は留意してもらいたい。

委員：「(エ) まちづくり協議会の代表者」を読むとかなり高い能力を要求された人材だと思うが、選出する方法はイメージできているのか。民間企業だとトップから直接任命されるようなことだと思う。

事務局：協議会の代表者は、地域活動センターの職員も含め、まさに活動の核となる人材で、とても重要な役割を担っていただくことになる。代表者は色々な分野について知見があり、責任感もあって、柔軟性や決断力も備えた人柄もよい方で…、と熟考した結果、この方がふさわしいという候補者があがっている。

委員：「1 設置目的について」の中に、「区長は1年ごとに交代」とあるが、2年の人もいるのではないか。

事務局：だいたいの方が1年交代だが、2年交代の方もいるので、ほぼ1年ごとに、など表現を改める。

委員長：様々なご意見をいただき、報告書の修正が必要となっているが、その後の対応については委員長一任でよろしいでしょうか。

委員：異議なし。

(3) 川島町地域活動センター（仮称）準備会について

委員長：ご意見ご指摘などあればお願いします。

委員：準備会に参加するのは、町は教育部局だけか。

事務局：準備会で話し合い、出てきた課題の内容によって関係課にも参加してもらうよ

うに考えている。

委員：他市町村で教育部局のところはない。町として新たな担当所管課、組織を作ってもいいのではないか。

委員：広報かわじま7月号で準備会の委員を募集していたが応募状況は。

事務局：学生の方や20代の方から応募があった。

委員長：他に特段意見がなければ案のかたちで進めてよろしいか。

委員：異議なし。

委員：広報かわじま8月号に地域活動センターについての特集が掲載された。今後も広報紙等を活用し、情報発信をしてほしい。

事務局：承知しました。

事務局：各委員から一言コメントいただければありがたい。

委員：公民館の限界については、2015年頃から話をしてきた。皆さんのおかげで少し進んだ。準備会も大変だと思うが引き続きよろしく願いたい。

委員：理解するのが難しい部分もあったが、今後がんばってもらいたい。

委員：この先どのようなかたちで進むにしても可能な限り協力していきたい。みんなが楽しく活動できる地域活動センターになってほしい。

委員：地域活動センターが夢をもてるようなすばらしいかたちになってもらいたい。

委員：色々な立場の方の意見が聞けて自分自身も勉強になった。ありがとうございました。

委員：成長とともに町との関りが減ってしまったが、今回の委員会を通じて町と向き合うきっかけになった。今後も学生の意見を積極的に取り入れてほしい。

委員：委員会に参加し、改めて町について考えることが増え、町のことがより好きになった。協力できることは協力していきたい。

委員：少子高齢化が進んでしまったが、地域の中心は公民館であったと思う。地域活動センター移行後は、継承するものも見直すものもあるかと思うが、コミュニティの活性化に役立つようなかたちになってもらいたい。

委員長：7回にわたり、時間をかけて議論をしてきた。次は準備会へとつながるが、これまでの議論でまとまってきた内容が全て決定ではないし、動き出す中で柔軟に改善を図りながら川島モデルを作り上げていければよいと思う。今回のご縁を大切に、しっかりと見届けたいと思うので、引き続きよろしくお願いします。

事務局：令和5年12月20日の第1回検討委員会から今日まで長い間本当にありがとうございました。事務局だけでは到底ここまでできず、皆様に引っ張っていただいたと感じています。また、若い方のご意見から学ぶことも多いと改めて実感しました。引き続きお気づきの点等あればよろしくお願いします。

5. 閉 会

署 名	稲村 美代子
	柳澤 睦夫